

近代の肖像

危機を拓く

第505回

東西文明の調和

「日本文庫」および「日本学」へと至る角田柳作の発心は、アメリカを考ふるなかで、「日」に対する「文化的負債」の償却として、「米国文化の申しあげは長者の万燈の中、日本文化の貧の一燈を点じたい」ということにある。文明に対する関心は、すでに青年期に宗教を学ぶなかに胚胎し、ハワイ

小樽商科大学教授

荻野 富士夫

ものへの関心につながった。大きく相違する日米の文明はいつか衝突すると予測したうえで、その結果として生まれる「新しい、より大なる文明」に期待をかける。

の結果、ニューヨークの日系新聞「紐育新報」に多くの文章が掲載されると予測したうえで、その結果として生まれる「新しい、より大なる文明」に期待をかける。

日米一つの国への忠誠心

時代を通じて高まっていた。移民教育のありようを考ふるなかで、「日」本、亜米利加、東洋、西洋と文明の傾向には一寸異なる所があつても、究心となるべき角田のアメリカ本土時代は回想類に「見て居ても気が気でない」として警鐘を鳴ら

とところで、もっとも中心となるべき角田のアメリカ本土時代は回想類に「見て居ても気が気でない」として警鐘を鳴ら

角田 柳作 ③

〔く〕簡単に整理すれば、

欧米への安直な優越感台頭に警鐘

さえ抱いていた。

ば、1920年代にはデモクラシーに傾斜し、仏教の「民主的影響」や俳句・近松の世話物などにみえる「民主的傾向」、さらに「インターナショナル・マインドの養成」に言及する。資料収集のたびに「移り行く日本」の姿を観察し、特に満州ドされ、軍国主義の跋扈する日本について、

その一方で、角田は日米の関係を「民権的傾向」や太平洋への膨張も「日本民族の錦衣帰郷」ととらえる。

しかし、日米関係の緊迫化のなかで、軍部にリ

「新らしい、より大なる文明」に期待をかける。

1 事変後の日本について、

「民権的傾向」や太平洋への膨張も「日本民族の錦衣帰郷」ととらえる。

しかし、日米関係の緊迫化のなかで、軍部にリ

「新らしい、より大なる文明」に期待をかける。

1 事変後の日本について、

「民権的傾向」や太平洋への膨張も「日本民族の錦衣帰郷」ととらえる。

しかし、日米関係の緊迫化のなかで、軍部にリ

「新らしい、より大なる文明」に期待をかける。

1 事変後の日本について、

「民権的傾向」や太平洋への膨張も「日本民族の錦衣帰郷」ととらえる。

角田柳作は数多くの書簡や論考を「中外日報」に寄せた（写真は昭和4年6月9日付）

日米文化學會より

角田 柳 作

「日米文化學會」の所報に、貴會の活動が盛んに行はれてゐることを知り、誠に喜ばしく申す所です。貴會の活動が盛んに行はれてゐることを知り、誠に喜ばしく申す所です。貴會の活動が盛んに行はれてゐることを知り、誠に喜ばしく申す所です。

「日米文化學會」の所報に、貴會の活動が盛んに行はれてゐることを知り、誠に喜ばしく申す所です。貴會の活動が盛んに行はれてゐることを知り、誠に喜ばしく申す所です。貴會の活動が盛んに行はれてゐることを知り、誠に喜ばしく申す所です。

「日米文化學會」の所報に、貴會の活動が盛んに行はれてゐることを知り、誠に喜ばしく申す所です。貴會の活動が盛んに行はれてゐることを知り、誠に喜ばしく申す所です。貴會の活動が盛んに行はれてゐることを知り、誠に喜ばしく申す所です。

「日米文化學會」の所報に、貴會の活動が盛んに行はれてゐることを知り、誠に喜ばしく申す所です。貴會の活動が盛んに行はれてゐることを知り、誠に喜ばしく申す所です。貴會の活動が盛んに行はれてゐることを知り、誠に喜ばしく申す所です。

「日米文化學會」の所報に、貴會の活動が盛んに行はれてゐることを知り、誠に喜ばしく申す所です。貴會の活動が盛んに行はれてゐることを知り、誠に喜ばしく申す所です。貴會の活動が盛んに行はれてゐることを知り、誠に喜ばしく申す所です。

さえ抱いていた。

開戦とともに角田はスパイ容疑で拘留され、釈放後も監視下に置かれながらも、二つの国への忠誠を持ちつづけた。軍国主義日本の崩壊を望む一方で、「詩の国、絵の国の故郷」への想いが、日本への忠誠心の源泉だった。

これら思想転回にもかかわらず、常に角田のめざし、願つところは東西文明の調和であった。

それゆえ、戦後になつても「日米文化学会」の構

想が未完であるという認識をもちつづけ、「日米

の相互の理解のよりどころ」をさらに深めるため

に、今度は日本に「アメ

リカ文庫」を設立する夢

を

を

を

を

を

を

を